

2022年度 関東学生水球リーグ戦水球 【戦評】

会場：日本体育大学

【2022/5/14】

この試合のプレー集計

1部	明治大学 15 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin: 0 10px;"> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td><td style="padding: 2px;">-</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td><td style="padding: 2px;">-</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td><td style="padding: 2px;">-</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td><td style="padding: 2px;">-</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td></tr> </table> 18 慶応義塾大学	3	-	6	4	-	3	5	-	5	3	-	4
3	-	6											
4	-	3											
5	-	5											
3	-	4											
	PSO 潮崎 正一 審判： 深谷 周平												

明治大学	41	SH数	34	慶応義塾大学
	5	速攻数	8	
	14	ST・SB	9	
	6	SH・P誘発アシスト	9	
	18%	GK阻止率	32%	
8	EX反則数	7		

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1P

ゲーム開始直後から、慶応大のセンター②田中を軸とした攻撃で5連続得点と、慶大が完全に主導権を握る展開になった。慶大②田中のフローティングに明大側は全く対応できず、序盤のDF確認ミスがこのゲーム最後まで響いた結果となった。セオリーからすれば、3連続失点した段階でベンチワークでゲームを落ち着かせることができれば、ゲーム展開は変わっていたかもしれない。これがシーズン最初の試合の難しさでもある。このピリオド後半は、ようやく慶大側DF対応の不十分さを突く形で3点を返したが、明大としてはもったいない序盤となってしまった。

2P

明大側も落ち着きを取り戻し、慶大センター②田中へ入ったボールを2回奪取するなど、センターDFは対応してきたが、慶大側は⑤矢作を軸にした攻撃パターンで3点を追加した。明大側は第1ピリオド後半から慶大DF陣の間隙を突く展開で、速攻や退水、さらにはGKとシューターとの間にDFが入らない隙を確実に決めて4点をマークして、徐々に追い上げムードが高まった。このピリオドでは明大⑥林のボール奪取起点の攻撃が目立っていた(明大7-9慶大)。

3P

明大としては追撃態勢となった後半であったが、センターボールを慶大⑤矢作が奪取した後のDF対応に大きなミスが出て、右サイド奥から慶大⑨錦戸に決められて3点差に広げられたのは痛かった。直後に明大⑤越智が返すが、慶大センター②田中に連続してリバウンドを決められて慶大が4点差に広げてやや安全圏に。明大も⑥林⑦渡邊が甘くなったDFを突いて加点して食い下がったが、終盤にシュートミスから⑫片山に独泳速攻を決められ、なかなか追いつけないまま最終ピリオドへ(明大12-14慶大)

4P

一進一退の攻防が続いた最終ピリオド、慶大GK①吉田が退水となった好機を明大⑦渡邊が決めて、とうとう1点差に追い詰めてきた。しかし、その後、やはり慶大センター②田中がフローティングだけでなく、積極的に泳ぐ攻撃を見せて3得点をあげて勝負を決した。

明大は第1ピリオドの5連続失点が最後まで響いた初戦となった。しかし、昨シーズンよりも大きく成長した⑥林の存在をどう活かして戦うかという意味では立て直しを図ってくるであろう。慶大は初戦に快勝したが、得点直後の再開からの失点も目立つなど、DFは安定感があるとは言えない状況で、このあたりの修正が今後の躍進のカギを握っているであろう。